

## 経験者採用試験 論文試験課題

### 1 一般事務職 A、一般事務職 B、警察事務職 A、警察事務職 B、小中学校事務職 A

本年9月の内閣府「月例経済報告」によると、全国の景気は緩やかに回復しているとされており、兵庫県においても経済・雇用情勢は、一部に台風などの天候の影響がみられるものの、基調としては緩やかに拡大してきています。この兆しをより確かなものとするため、兵庫の強みを生かした産業の活性化や雇用の創出が必要です。

そこで、産業特性や科学技術基盤など兵庫の強みを述べるとともに、産業の活性化及び雇用の創出を図るため、どのように取り組んでいくべきか、具体的方策について述べなさい。

### 2 農学職 A、農学職 B

(1) 本県は、都市近郊に立地し、多様な自然環境に恵まれた特性を最大限に活かした野菜等園芸作物の生産拡大に取り組んでいます。

そこで、本県の園芸作物の生産拡大に向けた課題を挙げたうえで、県としてこれを解決するための具体的な方策について、あなたの考えを述べなさい。

(2) 本県の農業において、畜産は主要部門となっており、平成27年度の本県農業産出額のうち畜産産出額は約4割を占めています。一方、県内の畜産農家の高齢化が進み、戸数が減少傾向にあるなか、担い手の確保・育成や規模拡大など生産基盤の維持・強化が必要となっています。

そこで、酪農振興、肉用牛振興のどちらかを選択し、それが抱える課題を踏まえながら、これを解決するための具体的な方策について、あなたの考え方を述べなさい。

( (1)、(2) の課題から1題を選択)

### 3 林学職B

- (1) 兵庫県では、「21 世紀兵庫長期ビジョン」の農林水産業・農山漁村に関わる分野別ビジョンとして、「ひょうご農林水産ビジョン 2025」を策定しています。

この中の施策の一つとして「森林の多面的機能の維持・向上」を掲げ、森林を県民共通の財産と位置づけ、公的な管理や社会全体で森林を支える仕組みのもと、様々な取組を推進しています。

このうち、森林の災害防止機能の維持・向上に関する課題と県の取組を説明し、今後の方策について、あなたの考えを述べなさい。

- (2) 平成 22 年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行され、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」においても、新国立競技場をはじめとした関連施設に国産材の活用が進められています。

兵庫県においても、平成 22 年に宍粟市で大型製材所が、平成 27 年以降は大型の木質バイオマス発電所 3 か所がそれぞれ稼働し、平成 29 年には「兵庫県県産木材の利用促進に関する条例」が制定されるなど、県産木材の利用についての機運が高まっています。

このような中、今後、建築用材と燃料用材の 2 本柱で余すことなく県産木材の利用を進めていくための必要な方策について、木材利用の意義を踏まえたうえで、あなたの考えを述べなさい。

- ((1)、(2) の課題から 1 題を選択)

#### 4 環境科学職B

- (1) 瀬戸内海(兵庫県域)の平成29年度の環境基準達成率は化学的酸素要求量(COD)で81%、窒素及び磷で100%となっているが、水は「きれい」になったものの、ノリの色落ちや漁獲量の減少など、今、新たに生態系の危機が叫ばれています。
- そこで、瀬戸内海における過去からの水質改善の取組に触れつつ、瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生するための課題を列挙するとともに、その中からあなたが重要と考える課題を2つ選択し、具体的な解決策を述べなさい。
- (2) 兵庫県では、持続可能な循環型社会の実現に向け、5年ごとに兵庫県廃棄物処理計画を改定し、県民、事業者、行政の参画と協働のもと、廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進及び適正処理に取り組んでいます。この結果、平成27年度の実績では、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は、基準年である平成19年度比で17%の削減、産業廃棄物の最終処分量は、51%の削減と着実に進捗しています。
- そこで、今後さらに「発生抑制(リデュース)」、「再使用(リユース)」、「再生利用(リサイクル)」を進めるにあたっての課題をあげ、それらを解決するための具体的取組について、あなたの考えを述べなさい。
- (3) 地球温暖化は、生態系への影響、自然災害の激化、農業への打撃など、人々の生活に深刻な影響を及ぼします。
- 兵庫県では、平成29年3月に兵庫県地球温暖化対策推進計画を策定し、地球温暖化対策に取り組んでいます。
- そこで、地球温暖化対策の主要施策の一つである日常生活や経済活動からの温室効果ガス削減対策について、「産業・業務部門」、「家庭部門」及び「運輸部門」の各部門の課題をあげ、それらを解決するためのあなたの考えを述べなさい。
- ( (1) ~ (3) の課題から1題を選択 )

#### 5 総合土木職A、総合土木職B

- (1) 近年、大型台風や集中豪雨等による自然災害が頻発し、全国各地で甚大な被害が発生していますが、自然災害の要因である「洪水」「高潮」「津波」「土石流」「がけ崩れ」から1つ要因を選び、その要因に対する防災・減災対策として実施しているハード対策、ハード対策を越える事態に備えて実施しているソフト対策について、具体的に記述しなさい。
- (2) 効率的・安定的な農業生産を維持するためには、農地や用排水路などの農業生産基盤の整備が不可欠です。
- また、本県の農業は、農業従事者の減少や高齢化などの状況のなか、農業経営が将来にわたって継続されるために、競争力の強化が求められています。
- このような現状を踏まえ、農業生産基盤の整備についてどのように取り組むべきか、あなた自身の考えを具体的に記述しなさい。
- (3) 都市の生物多様性保全を図るために公園緑地が果たすべき役割について、整備及び管理運営の観点から記述しなさい。
- ( (1) ~ (3) の課題から1題を選択 )

6 建築職B

- (1) 全国で都市再生の動きが活発化しており、本県でも、都市の魅力向上と国際競争力の強化を目指して、神戸の都心「三宮」や県庁を含む「神戸山手地区」等で検討を進めています。

そこで、現状の都市の課題を考察し、再生に必要な視点や再整備の方向性について述べなさい。

- (2) 今年の夏は大変な猛暑でした。地球全体でも温暖化が指摘されています。

そこで、まちづくり・建築に携わる技術者の視点から、温暖化対策として考えられる方策について述べなさい。

- (3) 兵庫県においては、現在、新長田で長田庁舎を建設中であり、元町の本庁舎の建替えも検討しています。県の庁舎は通常の業務を円滑に行うことはもちろん、災害時の活動の拠点ともなる施設です。

そこで、県の庁舎が備えておくべき基本的な機能をあげ、そのために必要な性能や設備について述べなさい。

- ((1)～(3)の課題から1題を選択)